

研究だより

研究主題

自己肯定感・自己有用感を
育成する学習活動の追求
～主体的・対話的で深い学びの視点に
立った授業改善を通して～

2度の授業研修を振り返って

6月に行われた研究授業の総括です。

2年数学	・生徒全員の考えが授業内に登場し、全員で考えを深められた。 ・上記の点を実行するためのICTの効果的な活用がなされた。
2年理科	・ICT機器の効果的な活用。生徒自ら発表することでより効果的になるだろう。 ・TeamsやiPadの利用によって学習が促進された。今後の表現力の育成に期待される。

本校は、Teamsの共同編集やiPadのAirDrop機能をはじめとしたICTツールが豊富であり、これらを活用することが研究の重点目標となっています。毎日の授業内でどの生徒もICTツールを使うことによって、自分の考えをもって表現しようとする姿が見えるようになってきました。今後期待される「表現力の育成」を図るためにも、授業をはじめとした様々な教育活動で「表現しようとする意欲」を高めていただけたらと思います。

振り返りの項目例

- ア 本時(や本単元)の学習で意識したこと。
- イ 本時(や本単元)で身に付いた力やできるようになったこと。
- ウ 本時(や本単元)で課題を解決するために試行錯誤したこと。
- エ 前時までには学習したことで、本時の学習に役立ったこと。
- オ 本時(や本単元)で工夫しようとしたが、十分ではなかったこと。
- カ 本時(や本単元)で学習したことで、今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校国語』で紹介されている振り返りの具体的な内容です。小単元や1単位時間ごとに項目を示して記述させることで「主体的に学習に取り組む態度」の評価の参考になります。個々の生徒の学習状況を観察しながら授業改善を続けていきましょう。

5つの壁

理論の習得で乗り越えられるのは「知識の壁」だけです。「行動の壁」以降は毎日の実践の積み重ねで乗り越えられます。授業づくりに限らず、日々の学習や部活動などの指導にも使えますので参考にしてください。

